

歌を通して「地球を愛して!」と伝えたい IUCN親善大使のイルカさん

国際自然保護連合(IUCN)の総会がホノルルで1日から10日まで行われ、192カ国から9,000人以上が参加した。7日には、在ホノルル日本国総領事公邸で、IUCN親善大使であるシンガーソングライターのイルカさんを招いてレセプションが開催された。

IUCNは1948年に設立され、『自然の価値を認め、守る、公正な世界』を掲げる世界最大の生物多様性保全のネットワーク。200を超える国や政府機関、世界1,300以上のNGOなどの団体会員と16,000人の専門家らの協働により活動している。イルカさんは2004年にIUCN初の親善大使に任命され、歌を通じてIUCNの認知度向上の活動に励んでいる。

三澤総領事夫妻と自身がデザイン・手描き・染めをした着物を披露して微笑むイルカさん。イルカさんは女子美術大学出身



開催した三澤康総領事は、外務省の先輩にあたり、IUCNの南・東アジア地域理事の堀江正彦氏、IUCN日本委員会の吉田正人氏や道家哲平氏、イルカさん他、レセプションに参加した地元コミュニティへ感謝の言葉を述べた。また、日頃から東北が育む食をハワイに広めていることを伝え、「今夜も東北の食や酒を味わってほしい」と話した。

続いて挨拶した堀江理事は、IUCNの会議の様子を報告し、「世界各国から集まったメンバーはそれぞれ話が長く、毎日夜遅くまで会議をしている」と参列者を笑わせながらも、全員が自然保護に対して強い情熱を持って活動していることを伝えた。

イルカさんは今回の総会のために自らがデザイン・手描き・染めをした紺青色の着物姿で登場した。「IUCNの存在はまだまだ知られていません。歌を通して多くの方に知っていただき、皆さんが住むこの地球を愛していただきたいと思っています」と挨拶した。

西陣織の帯には、IUCNで絶滅の恐れがあるとしてレッドリストに挙がっている海亀やジュゴン、カニなどの海洋生物、トキやヤンバルクイナなど森林の動物が描かれていた。着物の裾模様にはIUCN号の船に、イルカさんの絵本で自身の分身とされる主人公ノエルちゃんと



IUCNの宝船に皆で乗って目標へ向かうメッセージが込められた▼



▲金色の西陣織の帯に描かれた海亀とトキ。帯を結んだ時にトキや模様が見えるようにデザインされている。帯は一般に購入することもできる。伝統的物作りへの応援としてイルカデザインとIUCNがコラボレーションし、IUCNへの寄付金に繋げている

パンダや象、コアラ、キリンなどが乗り、「皆で同じ船に乗り、国境を越えて地球環境を守るという意味を込めた」と説明した。

イルカさんはピアノ伴奏とともにギターを奏で、『私の青空』、『海岸通』、『なごり雪』、『まあいいのち』を歌った。さらに、前日に行われた総会でのアワードセレモニーで披露し、IUCNのために作詞作曲した『We Love You Planet!〜ひびけ!惑星に。』を歌い、最後は全員で合唱した。メッセージがストレートに伝わる歌唱力のすばらしさに参加者は瞳を潤ませた。

その後、地元コミュニティを中心とした参加者とイルカさん、IUCN本部や日本委員会のメンバーらで親睦を深め、和やかな時間が流れた。